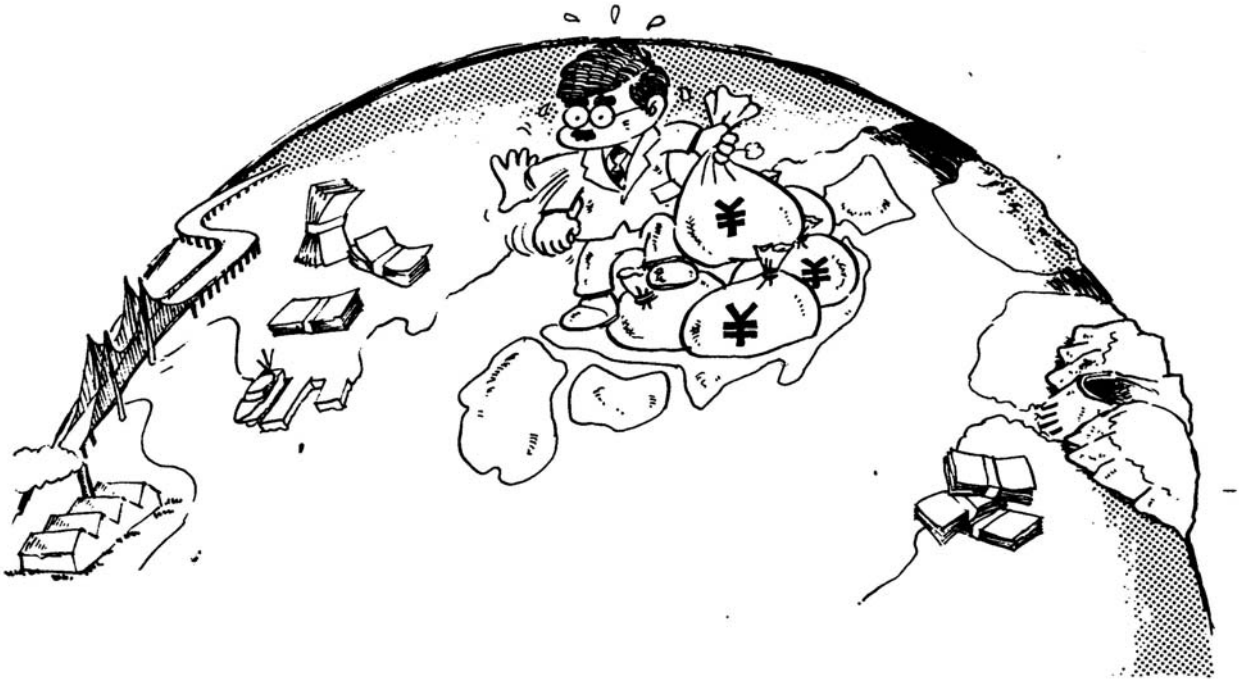
００４　ＴＩＣＡ

うさおさんの真似して解説はよそから頂いたものを軸にしました。読んでいる人もわかりやすいし、あたしも楽だし、こりゃいいや。

題名	作者	コメント	コメコメ
キッドナップツアー（新潮文庫）	角田光代	五年生の夏休み、２か月前に家から出て行った父親に誘拐（キッドナップ）された娘。だらしなくて情けなくてお金もない父親とクールな娘のひと夏のユウカイ旅行。	マイペースなお父さん、周囲の人間は大変だぁ。
嫌われ松子の一生―上下―（幻冬社文庫）	山田宗樹	中学教師として真面目に生きようとしていた松子の３０年間に渡る転落の人生を、逢った記憶もない甥が恋人とともに追う。何度も男を信じて裏切られた挙句に殺人まで犯す。	最近、映画化された。見ないな。
ラッシュライフ（新潮文庫）	伊坂幸太郎	泥棒を生業とする男、父に自殺された青年が信じる神、女性カウンセラーは不倫相手との再婚を企み、職を失い家族に見捨てられた男は野良犬を拾う。幕間には歩くバラバラ死体。並走する四つの物語、交錯する十以上の人生。	「死神の精度」だけが違うタイプの話だとしたらもう読めない。
鳶がクルリと（新潮文庫）	ヒキタクニオ	優良企業の総合職で働いていた女性がその職を捨て再就職したのは母親の弟が経営する鳶職人の集合体「日本晴れ」。いやいや働いていたが鳶の仕事や人間たちの魅力に惹かれていく。巨大な現代彫刻の取り付けの仕事を見守りながら、刑務所から出所してきた男にもまた惹かれて行く。ビッグコミックに連載の「アニキ」のイメージで読んだ。	出来事を私立中学のランクで評価する鳶がおかしかった。さすがに最低ランクの学校名は架空ね。
夜叉追い（双葉文庫）	千野隆司	夜叉の面を被り浪人を狙った辻斬りが続発。父親を殺された息子を預かり、あだ討ちの約束をした定町廻り同心、楓山主税助が探索に奔る。千野さんは、前にＤＧにも登場してもらった綾美ちゃんの娘さんの学校の先生。もっと人情系にしてもらった方がいいな。	解説は、ＣＡＣＣＯの知り合いのおじさんっていう古川さんだった。
世界の中心で、愛を叫ぶ（小学館）	片山恭一	高校生の恋人が亡くなり、恋人の両親と骨を撒きに訪れたオーストラリアから話が始まる。彼女との想い出を回想しながら、その死を受け止めていく。名前の由来を話す朔太郎少年と龍之介少年との会話が面白かったくらいで、爆発的なヒットになるとは・・・。う～むむむむ。 ヒットしたものをあとから読むと素直な気持ちで読めないってことはあるけどね。	「助けてください！」の場面ではすっかり山田孝之だった。

包帯クラブ（ちくまプリマー新書）	天童荒太	これも高校生の話。心が傷ついた場所に包帯を巻いて、ちょっとでも気持ちが楽になったらいいなっていう高校生のグループ。最初は、天童荒太の作品とは思えないくらい軽いテンポで、方言を使う会話に馴染めなかったけど、読み始めたらとっても面白い話だった。	いいね、高校生たち！いいよ！
１リットルの涙（エフエー出版）	木藤亜也	脊髄小脳変性症という難病のために中学校３年のときに歩行障害があらわれ、１８才で他人の力を借りないと日常の生活すら営めなくなってしまい２５歳でこの世を去った木藤亜也の日記。発病前の１４才から始まる日記は筆が持てなくなった２１才で終るが、昨日出来たことが出来なくなっていく恐怖、ペンも持てなくなってからの四年間を思うと息苦しくなる。	
癌でも私は不思議に元気（新潮社）	絵門ゆう子	父親が入院している病院の本棚から拝借してきて読んでいるからこのところ闘病ものが多い。	
救命センターからの手紙―ドクターファイルから―（集英社）	浜辺祐一	突発的な事故や病気で命の危険にさらされた人間を救うべく登場した救命救急センター。そこには収容された患者の死亡率が、３割を超えるという現実がある。医療の最前線であるために、人生の表も裏もきれいごとも本音も、鮮やかに浮かび上がらせる病院。２４時間態勢の救急医療の現場で医者と患者が織りなす生と死のドラマ。	
空中ブランコ（文芸春秋）	奥田英朗	人間不信で飛べなくなった空中ブランコ乗り、尖端恐怖症になったヤクザ、医学部の権力者である義父のかつらをとりたくて仕方がない婿の医師、まっすぐにボールが投げられなくなった野球選手、書こうとすると吐いてしまう女流作家。心を病んでしまった人たちが通う精神科医は注射が趣味の好奇心の強い医師で、そのキャラはとても友達になれそうな人じゃないのに、妙な安心感がある。さすが精神科医。無愛想な看護婦とのコンビが面白い。	昔悪いことして巨人に入団した江川（私は忘れない）もボールがまっすぐに投げられなくなるイップスで引退したんだって。
ヴェネチアン・ビーズとコスチュームジュエリー	監修・小瀧千佐子	福岡の博物館で開催されたビーズコレクション展の図録。佐賀大学にいる高校の恩師が送ってくれた。ヴェネチアンビーズはまだ使ったことはないけれど、ガブリエル（ココ）・シャネルやクリ	先生って職業は、生徒がいくつになっても先生。一緒に野球見に行ったり飲

（キュレイターズ）		スチャン・ディオールなど有名デザイナーも扱っていたことや、９０年前のものを見たりすると興味がわいてきた。もしかしてあたしたちのビーズも１００年後にも残ってたりして・・	んだりしてても、やっぱり先生。
図書館の神様（マガジンハウス）	瀬尾まいこ	バレーボール一筋の少女が、部員の自殺によって未来の夢を諦め、なんとなく高校の講師になり文芸部の顧問になった。そこでたった一人の部員の男子生徒との出逢いから傷ついた心を回復していく再生の物語。 恋人は不倫関係で切ないけれど、周りに文芸部の生徒や弟や同僚の教師がいてくれて恵まれている。 高校生の話を読むと、こういうのってオトナが書いているわけで、結局オトナの都合で作り上げた理想の高校生ってことなのかなぁって思う。	女友達が出てこない不思議。